

御前山ビオトープ通信

令和元年11月30日

第57号

発行：御前山ダム環境センター

メール：denen21@ktb.biglobe.ne.jpホームページ：<http://www7b.biglobe.ne.jp/~noasobi/>

目次

1. ビオトープ見学者の案内
2. 御前山小学校「田んぼの学校」稲刈り
3. 第二回環境整備活動：台風19号災害復旧作業
4. 御前山ダムカードの発行
5. 山桜記念植樹の実施

【案内図】



1. ビオトープ見学者の案内

令和元年8月1日から学童保育園「子コロッコロ」の子どもたち43人がビオトープ見学にきました。人数が多いので4日間の午前と午後に分かれて計8クラスの子供たちがやってきました。初日の講師は青山会長が担当しました。

ビオトープの全体的な話から希少植物の説明などを聞きながら歩きました。外遊びをする機会が少ない子供たちが増えてきているせいか、虫一匹で大騒ぎする子もいました。希少植物の説明を始めると興味を持ち、メモを取っている子もいました。どちらかというと植物よりはビオトープに生息する昆虫に夢中のような様子でした。



青山会長の説明

オダの準備

2. 御前山小学校「田んぼの学校」稲刈り

9月27日（金）桜山集落内の田んぼにおいて、御前山小学校5年生の稲刈り作業が行われました。今年の5月30日（木）に子供たちが手植えた稲は地域の皆さんの管理で立派に育ちました。当日は晴天に恵まれ、集落の皆さんは朝早くからオダ設置などの準備作業を行いました。9時過ぎに子供たちは先生の引率を受けバスで到着しました。早速、歓迎の挨拶や稲刈りの説明を受けて稲刈りが始まります。台風の強風で一部倒れか



稲刈り終了！全員集合



頑張ってます！

かった箇所もありましたが、大人の丁寧な手ほどきを受けて作業は順調に進みました。

子供には、稲束の縛り方が難しかったかもしれません。その後、手回しの脱穀機（地元ではガーコン）の体験では大人も初めてという人が多く、大声をあげながら挑戦しました。

3. 第二回環境整備活動:台風19号災害復旧作業

秋季ボランティア活動は、今年から御前山ダム湖を周回する遊歩道の整備を行う予定でしたが、10月の台風19号で那珂川流域は甚大な降雨災害が発生しました。御前山ビオトープも用水の取水が不能となり、土手、道路法面など数か所が崩壊する被害を受けたことから急遽災害復旧作業を行うこととしました。

11月7日(木)のボランティア作業にはNPOや地元の皆さん50数名が参加していただきました。取水口本体は持ちこたえてくれたので人海戦術で石積を行いました。土手崩壊か所は蛇籠を新設設置。倉庫横の崩壊部が最も深刻で蛇籠が倒れてしまい復旧工法で苦勞しました。人海戦術と青山会長がバックホウを自ら操作して倒れた蛇籠を動かし、何とか河道を開くことができました。年内には資材を確保し追加作業が必要な状況ですが、何とか二次災害の危険性は解消できました。今回は河川内での重労働で、ボ

ご苦勞様でした。



ランティアの皆さんは本当にご苦勞様でした。

昼食は桧山公民館に移動していただきました。地元がお土産に大根、トウガン、柚子などをたくさん用意してくれました。



取水口周辺



蛇籠の設置



転倒蛇籠の復旧

4. 御前山ダムカードの発行

ダムカードは全国的に発行されており、収集マニアも多く知られています。今回、常陸大宮市役所が御前山ダムのダムカードを発行しました。数量限定ですが、ダム視察の写真を自撮りして市役所本所か近くの御前山支所に行くともうることができます。



5. 山桜記念植樹の実施

11月27日(水)、生徒18名、保護者6名、先生3名と那珂川沿岸農業水利事業所から3名、会員13名で山桜の記念植樹を実施しました。朝は小雨が降っておりましたが午後からは止み、少し肌

山桜の植栽



寒かったです。参加した保護者からは、「六年生ぐらいになるとなかなか真横に寄らせてもらえない。植樹を通して子どもの成長を改めて感じた。たまにはここに来てヤマザクラの成長を見ていきたい。良い記念になった。」子供も「友達と一緒に同じヤマザクラを植えることができ記念になった。来年の春は自然に生えているヤマザクラを見にきてみたいと思う。」等の話を聞きました。植樹の後は御前山ダムの見学をしました。3年前に来たことがある生徒もいました。